



福井県

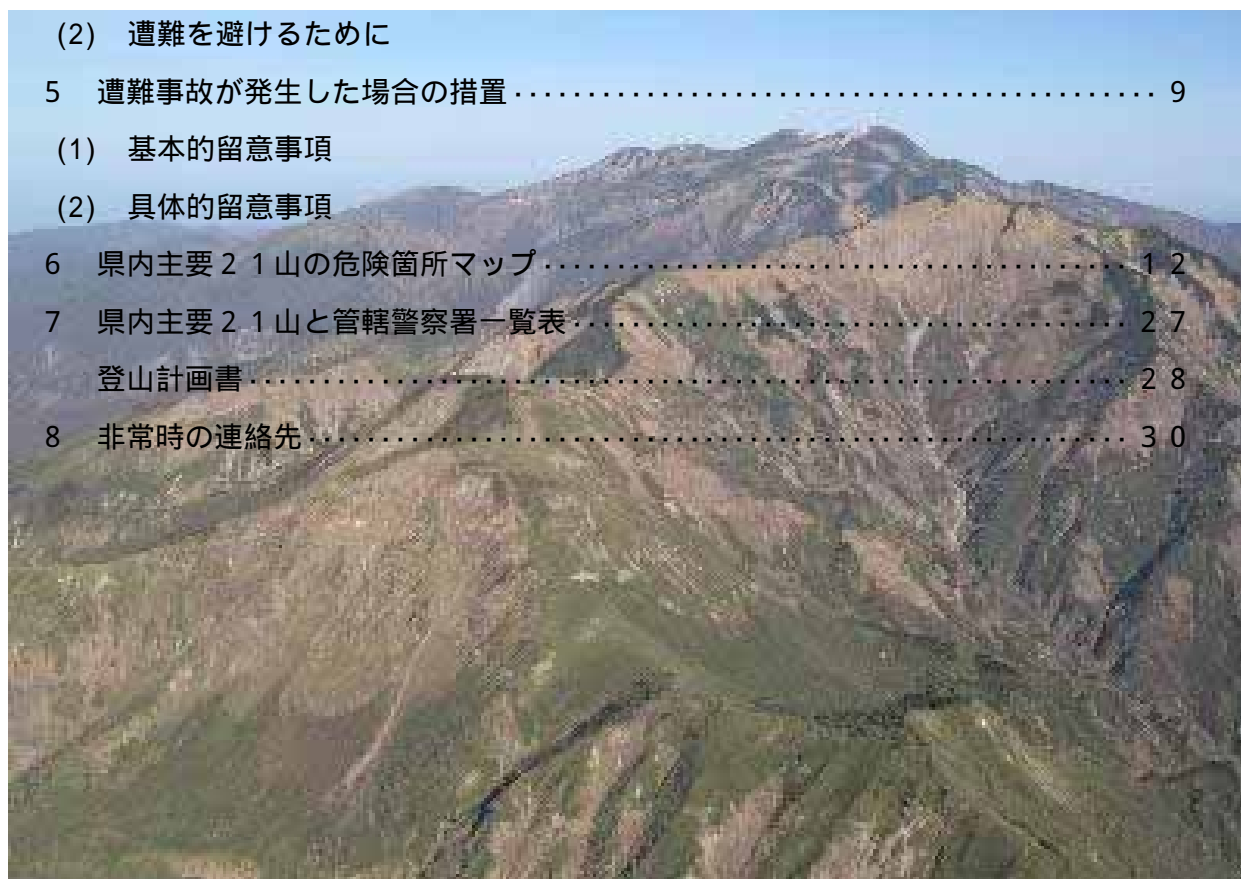
山岳遭難防止マニュアル



福井県警察本部生活安全部地域課

目 次

1	福井県内における山岳遭難について	1
2	県内の山を登るときの注意事項	2
	(1) 登山計画書の作成と提出	
	(2) 気象状況の事前把握と気象の変化に注意	
	(3) 無積雪期における注意事項	
	(4) 積雪期における注意事項	
3	登山の基本的技術	5
	(1) 休憩のとり方	
	(2) 水の飲み方	
	(3) 現在地の確認	
	(4) 尾根登り	
	(5) 沢歩きについて	
4	危急時の対策	7
	(1) 見える危険と見えにくい危険	
	(2) 遭難を避けるために	
5	遭難事故が発生した場合の措置	9
	(1) 基本的留意事項	
	(2) 具体的留意事項	
6	県内主要21山の危険箇所マップ	12
7	県内主要21山と管轄警察署一覧表	27
	登山計画書	28
8	非常時の連絡先	30



三ノ峰から白山

1 福井県内における山岳遭難について

平成19年中における福井県内の山岳遭難事故は、発生6件、遭難者6人と昨年と同数でした。

遭難者6名全員が50歳以上の中高年者であり、全国同様、中高年の登山者の事故が増えている状況がうかがえます。

福井県内における過去の山岳遭難発生状況（平成15年～平成19年）

	発生件数	遭難者数	遭難状況			
			死亡	行方不明	負傷	無事救助等
平成15年	4	4	0	1	2	1
平成16年	7	20	2	0	17	1
平成17年	6	6	4	0	2	0
平成18年	6	6	3	0	1	2
平成19年	6	6	1	0	3	2

上記結果については、警察に届け出された事故発生件数等です。

平成19年山岳遭難発生状況

発生日	発生場所(山岳名)	態様	事案の概要
4/10	越前町(藤倉山)	登山	祭りに出かけようとした夫婦が駅ではぐれ、夫だけが山に登り行方不明となったが、翌朝民家に救助を求めて保護されたもの。
4/20	越前市(自宅の裏山)	山菜採り	自宅近くの山中へ山菜採りに出かけた女性が滑落したもの。(死亡)
4/24	勝山市(地獄谷)	山菜採り	夫婦で山菜採りに出かけた女性が、足を滑らせて約5m滑落し、怪我を負ったため、ヘリコプターで救助されたもの。
4/27	勝山市(取立山)	登山	単独登山中の男性が下山中に転んで足首を骨折し、ヘリコプターで救助されたもの。
6/2	大野市(鷲鞍岳)	登山	妻を麓の自家用車で待たせ、一人で登山したが、下山中に道に迷い110番通報して、翌早朝に発見・保護されたもの。
8/25	南越前町(夜叉ヶ池)	登山	登山道で足を滑らせ約3m滑落して足首を骨折し、ヘリコプターで救助されたもの。

上記結果については、警察に届け出された事故発生件数等です。

2 県内の山を登る時の注意事項

(1) 登山計画書の作成と提出

安全な登山と万一遭難した場合の早期救助のため、しっかりとした登山計画書（同マニュアル27、28ページ「登山計画書」）をパーティー全員で検討して作成してください。

～ 登山計画の注意事項 ～

エスケープルート（万一の時の逃げ道）は考えているか

応急処置のための医療品・装備（三角巾など）は備えているか

緊急時の連絡手段は用意したか（携帯電話・無線など）

気象情報に注意を払っているか（ラジオなど）

作成した計画書については、警察本部又は地元の警察署（同マニュアル27ページ「7 県内主要21山と管轄警察署一覧表」参照）に提出しましょう。

(2) 気象情報の事前把握と気象の変化に注意

山へ行く数日前から天気図に目をとおり、山の天候を確認し、山に出かけてからも常に新しい気象状況（ラジオなどから入手）に細心の注意を払いましょう。

また、悪天候が予想されたら撤退する勇気も必要です。

(3) 無積雪期における注意事項

熊対策

ア 福井県内の山間地は、自然環境が豊かで、ツキノワグマも600頭程度生息していると考えられます。クマは国内の数少ない森林性大型哺乳類であり、私たちの住む自然界を構成する大切な一員です。

ツキノワグマは、本来大変臆病で温厚な動物です。

昨年各地で人を襲ったのは、山に木の実などの餌がなかったためであり、餌が豊富であれば人を襲うことは珍しいのです。

イ 身を守る基本事項

・クマに自分の存在を知らせてください。ラジオ、笛、鈴などで音を出して行動してください。

・子グマに出会った場合はそっと立ち去ってください。親グマが近くにいます。

・急に大声を出さないで、クマまでの距離があるようなら、そっと立ち去ってください。距離が近い場合は、クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくり後退してください。

・攻撃が避けられないときは、頭や首などの急所を守ってください。うつ伏せになると、背中中のザックで背中中は守られます。その際、両手で首の後ろをガードしてください。死んだふりをするよりは、積極的に自分の体を守ってください。

ウ その他

・ゴミは必ず持ち帰ってください。生ゴミなどを無造作に捨てたり、置いたりするとクマを引き寄せることになります。

毒蛇対策

県内はマムシなどの毒蛇がいます。奥越地方の荒島岳、経ヶ岳、加越国境（取立山、赤兔山、大長山など）の山々は特に多いと言われています。

万が一、マムシに噛まれたら、毒を吸い出して、仲間がいれば背負ってもらう等して下山してください。

8時間位の間解毒の血清を注射しないと、死に至ることもあると言われています。

(4) 積雪期における注意事項

積雪について

福井県の奥越地方は、日本でも有数の豪雪地帯であり、日本海から近く、通称ドカ雪と呼ばれる湿った重い雪が大量に降る地域です。

雪崩について

ア 雪崩の原因

昔は雪崩について、自然発生するという考え方でしたが、最近の研究結果により実際に雪崩を引き起こしているのは、その80～90%までが人為的な原因であることが判ってきています。

イ 雪崩から身を守るために

・狭い範囲に、何人も入らないようにしてください。一人ひとり、一定の間隔を空けて歩き、同じ場所に何人も入らないようにしてください。

・開けた斜面よりも、樹林帯の中を通ることの方が安全ですが、樹林帯の上方が急斜面になっていると、樹林帯の中を雪崩が走ることもあります。

・雪庇を踏み抜かないでください。踏み抜いて落下すると、自分自身が雪崩を引き起こし、そのまま埋没してしまうことがあります。



雪質を調査する警察官

その他

ア 雪崩ビーコン

駐車場に着いたら、雪崩ビーコンのスイッチを入れて入山してください。雪崩ビーコンを全員が装着していないと、もし、雪崩に埋没しても探すことができません。

埋没してから15分間に掘り出せるかどうか一つの目安です。

イ ゾンデ棒・スコップ

ゾンデ棒は埋没した者を特定して掘り出す時に絶対必要です。雪崩がおきるとまたたく間に雪は固くなり、手では掘ることができず、スコップが必要です。

登山技術というと、特別なテクニックを必要とすると思われませんが、積雪期の登山や、特殊な岩登りなど専門的なものを除けば、特別な技術は必要としません。

まず体力をつけ、歩くことがその基礎となり、一步一步確実にその内容を高め、進歩させてゆけば良いのです。



遭難者救助訓練の状況

3 登山の基礎的技術

(1) 休憩のとり方

休憩のとり方は、単に疲れたから休むのではなく、歩調のペースの上からも大切に、山登りは登りに1/3、下りに1/3、余力を常に1/3残して行動せよと言われていきます。

休憩時間の配分は、コースの状況、メンバーの体調、天候、全コースの所要時間によって変わりますが、だいたいの標準は、30分に5分又は50分くらい歩いたら5～10分の小休止をとります。

(2) 水の飲み方

人間のからだの約60%は水分で、このうち20%ぐらいの水分が不足すると、脱水状態になり危険となりますので、喉が渴いたら適度に水を飲んで新陳代謝を活発にし、疲労回復を図ってください。

適度と言うのは、少量の水を何回にも分けてとれということです。

むやみに水を飲み過ぎると、疲れやすく、調子が悪くなります。

(3) 現在地の確認

最初はなるべく見晴らしのよい高いところで周囲の谷、尾根などを地図と比較して、練習してください。

地図の向きを決めるのは、多少離れた山頂や小屋などの顕著ないくつかの目標の方向を地図と合わせます。

不明の山をみる時は、磁石の北と地図の北を合わせて、その山の方向にある地図上の山頂をみてさがします。

(4) 尾根登り

初心者が歩行法、山を知るなどの山の基礎を学ぶためには、この尾根歩きから始めることが最も良い方法です。

たいていの尾根道は道標が整備されており、これを利用することによって自分の登路、現在地確認の練習をすることができるので、尾根歩きをしている時期に基礎技術の習得と研究を十分にしておきたいものです。

道迷いについて

“道に迷った！と思ったら出発点に戻ること！！”

ア ガスのかかった広い屋根や、森林の中ではともすると踏み跡を見失いがちです。

特に人のあまりいない山域では、けもの道と呼ばれる迷路が多くありますが、注意してみると、人の踏み跡とは異なっているのが解かりますし、まれには、けもの毛、つめ跡などが発見され、それと判ることがあります。このときは直ちにもど

る必要があります。

イ 広い尾根やガレ場で霧にまかれたり、夜になったりしたときは、人間の方向感覚がくるい、一方に曲がる癖を生じ、同じ場所をぐるぐる回り出し、いわゆるリングワンデリングをすることがあります。このような場合は、動かずにじっつとして、状況が改善されるのを待ちましょう。

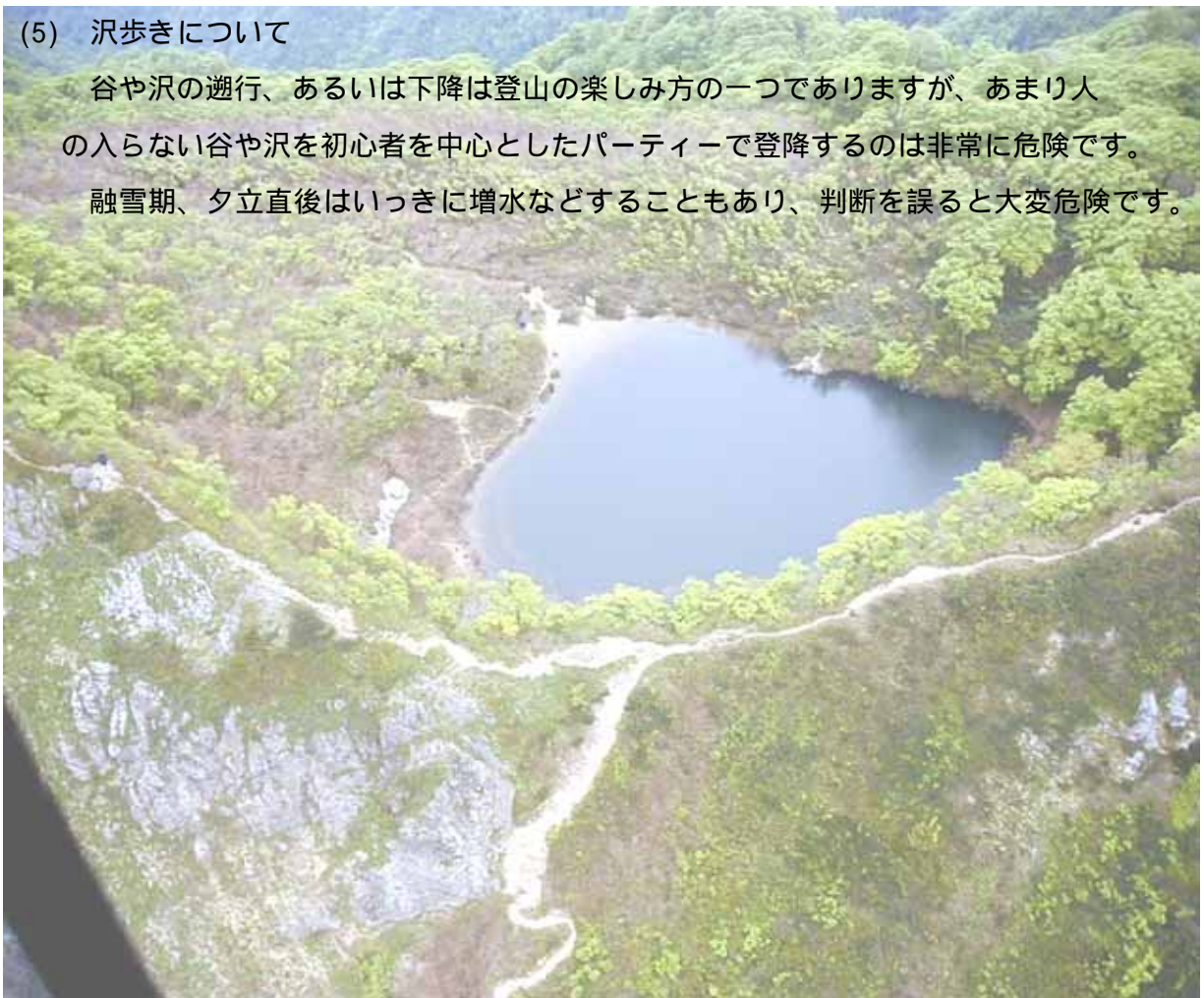
ウ ルートがわからなくなった場合、沢を下れば早いというので初心者は全く知らない沢を下降しがちですが、沢の下方には、滝があるなど、転落の危険があり避けましょう。

やせ尾根通過時の注意点

両側の急に落ちているやせ尾根では、恐怖感がわき、バランスをくずして足を踏み外したりしやすいものです。このような場所に取り付けられた古い鎖や、針金、草の根、灌木、はい松などは万が一取れたりすることもあるので、絶対にたよらず、バランスの補助といった程度に手をかけ、自分の足でしっかり登降しましょう。

(5) 沢歩きについて

谷や沢の遡行、あるいは下降は登山の楽しみ方の一つではありますが、あまり人の入らない谷や沢を初心者を中心としたパーティーで登降するのは非常に危険です。融雪期、夕立直後はいっきに増水などすることもあり、判断を誤ると大変危険です。



夜叉ヶ池（南越前町今庄）

4 危急時の対策

(1) 見える危険と見えにくい危険

見える危険

どんな遭難事故でも、天候の悪化だけが原因ではなく、いくつかの要因が複雑にかかりあっているのが普通です。天候の急激な悪化は、遭難事故の大きな要因の一つで、見える危険の典型的なものです。

その他に、

- ・ 登山口までのアプローチの長く高い山
 - ・ 岩場、ガレ場、鎖場など足元の悪い山
 - ・ 近くに避難するための山小屋などのない山
- なども見える危険としてあげることができます。

見えにくい危険

- ・ 目的の山の研究不足
- ・ 必需品（装備、食糧）の準備不足
- ・ 日程・ルートに無理がある
- ・ パーティー内で役割分担がしっかりできていない
- ・ 事前の体力トレーニング不足と健康管理不足

などは、登山者自身にある見えにくい危険としてあげることができます。

このような、見える危険と見えない危険が重なり合ったときに、遭難事故は起きてしまうのです。

(2) 遭難事故を避けるために

疲労と日没についての注意

- ・ 疲労について

十分な睡眠や休憩をとらずに、夜通し車で移動し、早朝登山口に着き、そのまま登山するなどということは、最初から大きなリスクを背負ってしまうことになります。

疲労が蓄積されるといろいろなミスをおかすようになります。

- ・ 日没について

午後は早めに目的地へ到着するのが登山の原則です。

- ・ 日が暮れると

道迷い、転倒、滑落などが起こりやすくなります。

荒天時の対策

春や秋の高山では、気温が低下すると、雨はみぞれに変わることがあります。

雨に濡れてそのうえみぞれと風にさらされると急に大量の体熱を奪われ、体温が低下し短時間のうちに体が動かなくなり、疲労凍死する危険が生じます。

このような状況の際には、

- ・ 早々に行動を変更して安全な場所へ引き返す
- ・ ツェルトをかぶる
- ・ 森林地帯へ降りる
- ・ ビバークする

などを考える必要があります。

雪と雪崩

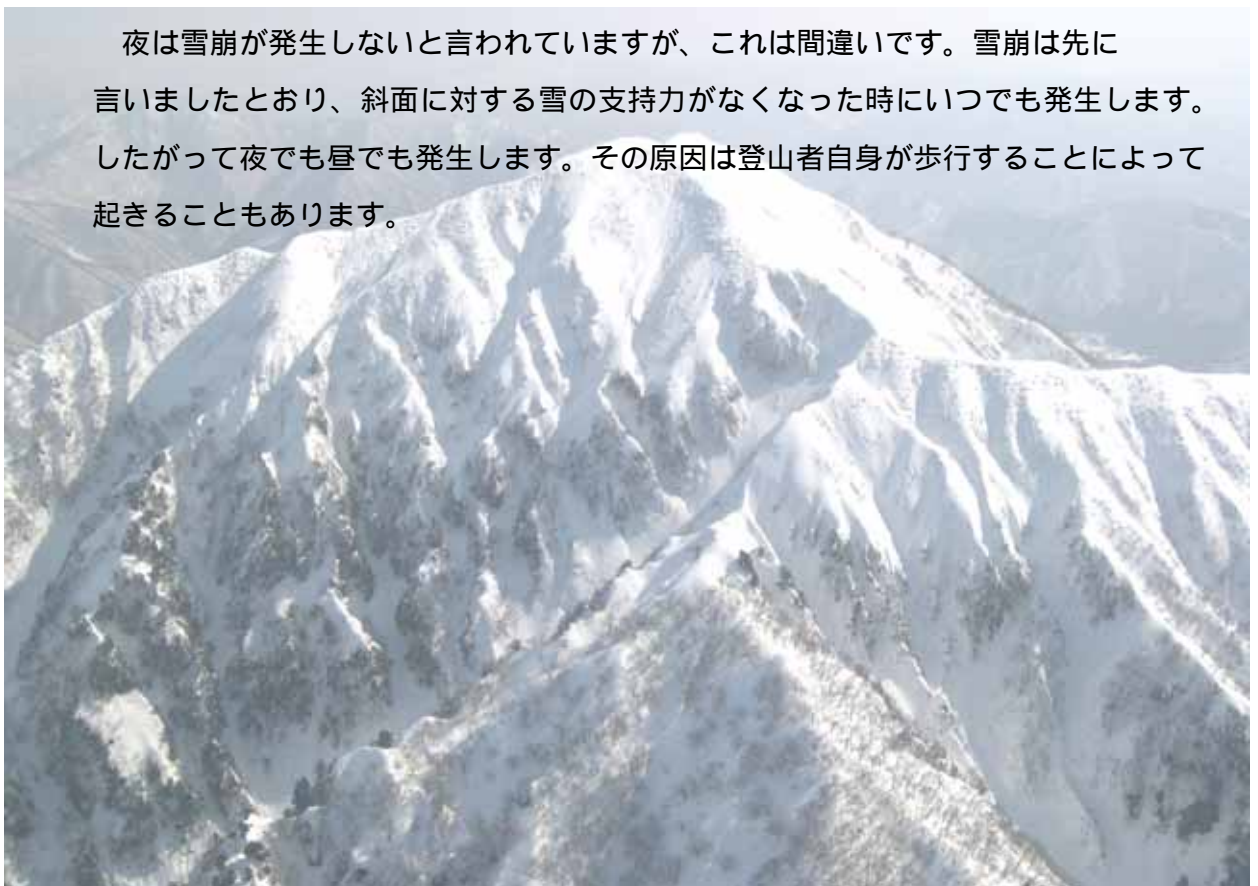
晩秋から初冬にかけて積もった雪は不安定で雪崩が発生しやすく、危険です。

真冬には、一晩に数10センチメートルの降雪があり、テントが押しつぶされてしまうことがあります。気候の変化には十分に注意する必要があります。

雪崩について

斜面の雪は、微妙なバランスで斜面に張り付いており、そのバランスが崩れた時に発生します。雪崩には表層、全層雪崩などがあります。

夜は雪崩が発生しないと言われていますが、これは間違いです。雪崩は先に言いましたとおり、斜面に対する雪の支持力がなくなった時にいつでも発生します。したがって夜でも昼でも発生します。その原因は登山者自身が歩行することによって起きることもあります。



冬の荒島岳（大野市）

5 遭難事故が発生した場合の措置

(1) 基本的留意事項

まず冷静になること

リーダーの指示に従い、勝手に行動しない。

正確な状況判断

遭難した事態をその時点での最悪事態とし、事態をそれ以上悪化させないようにするためにも、正確な状況判断が必要です。

天候、現場の状況、事故の程度、パーティーの状態などを総合的に判断することです。

救助の要請

負傷者や病人が出た時は、現場でできる応急処置を行い、近くの山小屋、集落へ連絡員を出すか、付近に登山者がいたら、

- ・ 事故の位置
- ・ 時刻
- ・ 原因
- ・ 程度
- ・ 事故者名
- ・ パーティーの連絡先
- ・ 救助の要請先（警察等）

などを記載した「メモ」を持たすようにしてください。口頭での依頼は誤りが多くなります。



経ヶ岳から赤兎

(2) 具体的留意事項

ドカ雪の場合

ア 雪洞を掘る努力をする

雪の中は暖かいのです。テントを持っていない場合には、雪洞を掘るなどしてください。スコップを持っていなくても、手でも掘れます。より暖かい状況を作ることが必要です。

イ 雪洞の内でテントを張る

テントを持っていれば、雪洞の内でテントを張る。その方が、暖かいし、夜中のテントの除雪をしなくて済みます。ドカ雪になった場合、テントは潰されます。

なお、雪洞は時間の経過において、天井が下がるので気をつけましょう。

凍傷の防止

凍傷防止のため、靴を脱いで足をザックの中に入れて暖かくして、足の指を動かしてください。そのまま靴をはいて靴ひもで締めていると血液が通わなくなり、凍傷になります。

また、ぬれてきたら、こまめにふいて、暖かくしてください。

体力の温存

雪洞を掘るか、樹林帯に逃げ込み、木の根元のくぼみ等で動かずにじっとし、その際、体力を消費しないようにしましょう。

昔は、眠るとそのまま死ぬと言われて、無理に起きていましたが、眠るべきです。眠って死ぬようなことはありません。

通信手段の確保

万が一の場合に備え、携帯電話や無線機等所持して通信手段を確保しましょう。予備の電池も必要です。電池が少ないときには、電池を肌の近いところに入れておくと、暖められて電池の消耗が防げます。

携帯電話や無線機等で警察署等とつながった場合、一定の時間を決めて定時通話を心掛け、必要以外は電池の消耗を考慮して電源を切っておきましょう。

携帯電話や無線機等は谷底などでは通じないことがあるので留意して下さい。

なお、アマチュア無線を使用するには免許が必要です。

食料の温存

日帰りの登山の場合でも、非常食は持参してください。チョコレート、ビスケット類、簡単な物もありますが、マヨネーズ1本を非常食の中に入れておくと有効です。以前遭難した人が、マヨネーズを少しずつ食べて長期間の遭難に耐えたことが実際にありました。

救助時の注意

遭難位置を特定するため、ライター、マッチを持っていたら、火を起し、生木等を燃やして煙を出して知らせる。ヘリ救助時にも有効です。

赤、黄、オレンジ等原色の服を着ていたらそれをヘリに向かって振ると発見されやすいです。

なお、ヘリについては、天候等により飛行できない場合があります。



山岳遭難対策本部の状況



山岳遭難現地本部の状況



山岳遭難現地の状況



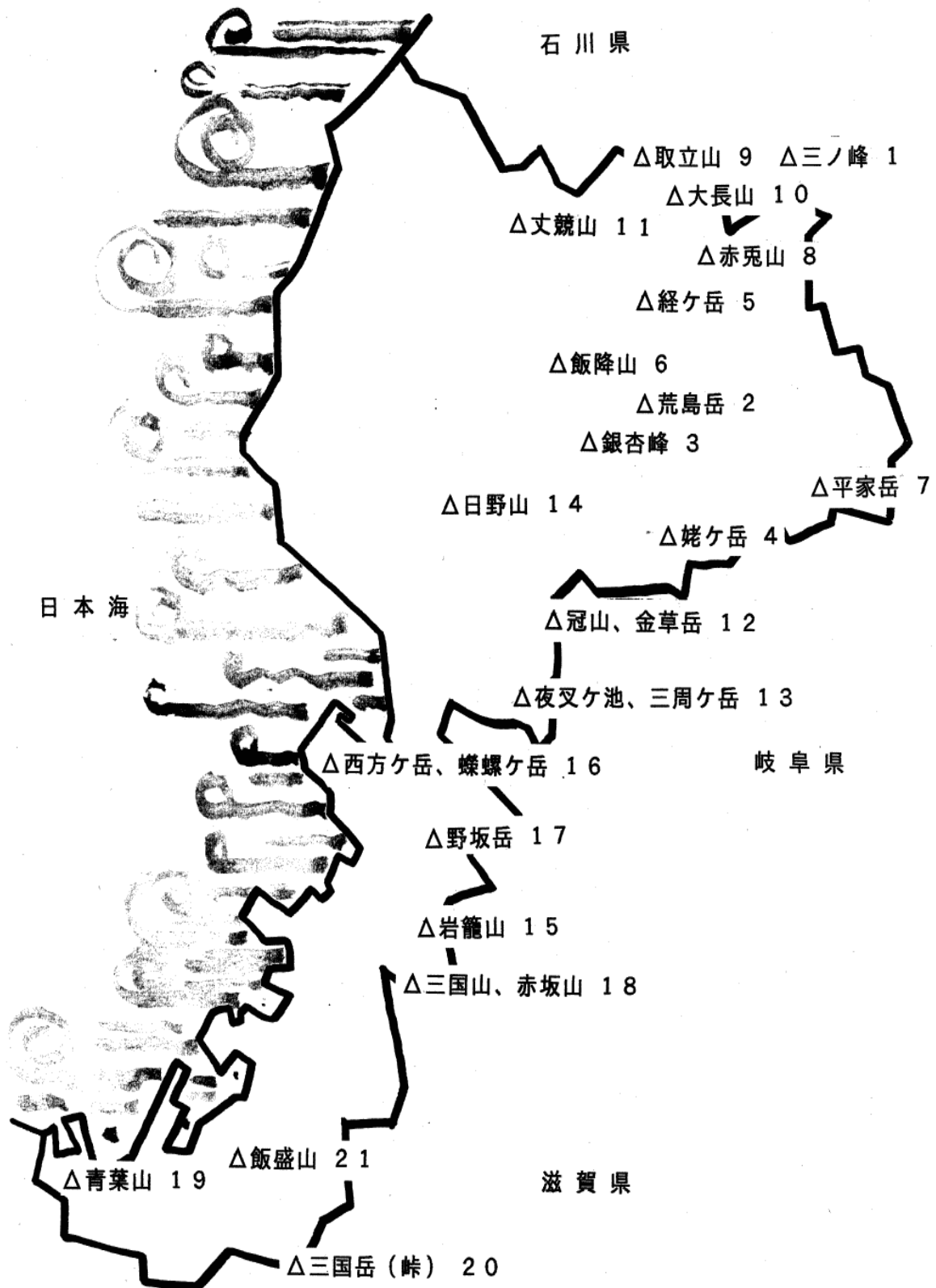
無線中継基地の状況



山岳遭難者救助訓練の状況

6 県内主要21山の危険箇所マップ

県内で人気のある山（冬山を含む）21山を選んで、悪天候時などにルート进行を迷いやすい場所、滑落しやすい場所、積雪時に危険な場所などを記載しました。



1. 三の峰

2128m

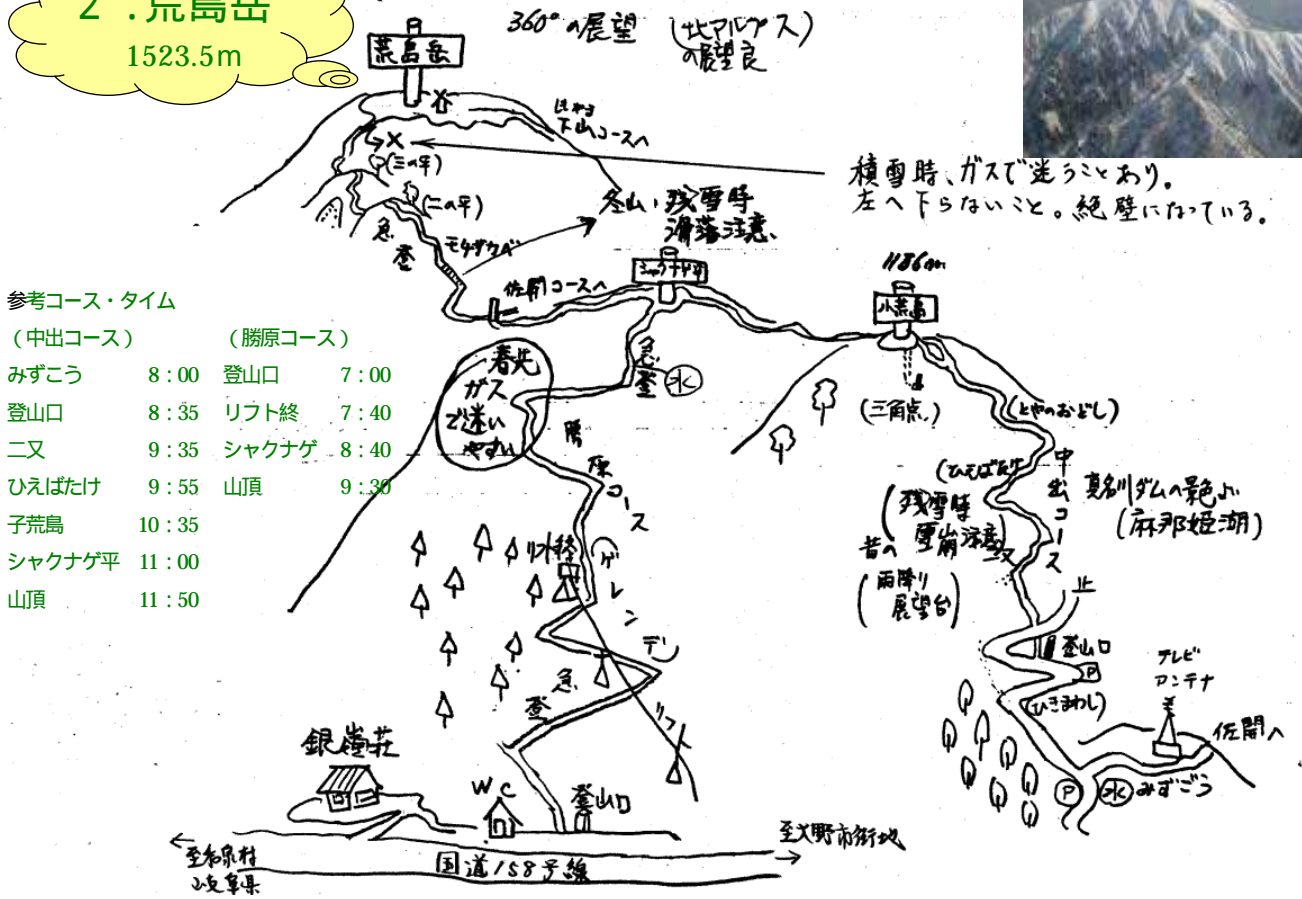


向け印刷

キャンプ場 P	7:40
登山口	8:00
山腰屋敷跡	8:20
六本松	9:25
剣ヶ岩	10:25
避難小屋	11:30
山頂	11:40

2. 荒島岳

1523.5m

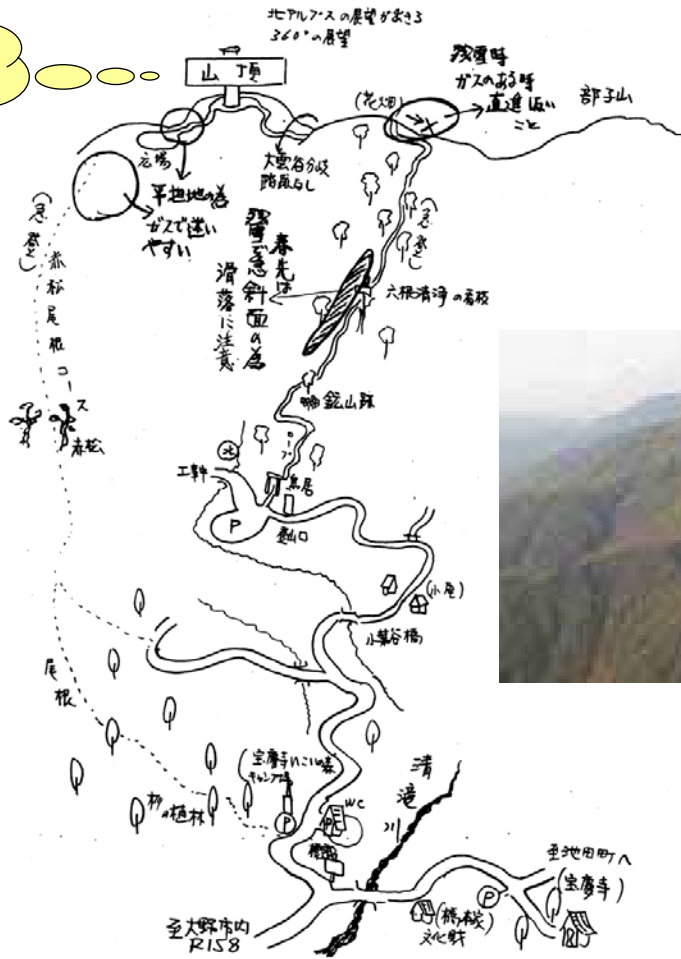


参考コース・タイム

(中出コース)		(勝原コース)	
みずこう	8:00	登山口	7:00
登山口	8:35	リフト終	7:40
二又	9:35	シャクナゲ	8:40
ひえばたけ	9:55	山頂	9:30
子荒島	10:35		
シャクナゲ平	11:00		
山頂	11:50		

3 銀杏峰

1440.7m



冬山コース (志目木谷西尾根コース)

この辺は
ガスの時迷いやすい(目印竹)
展望がいい(150m)
尾根上行き

360°展望
山頂
雪原
部子山へ
約40分

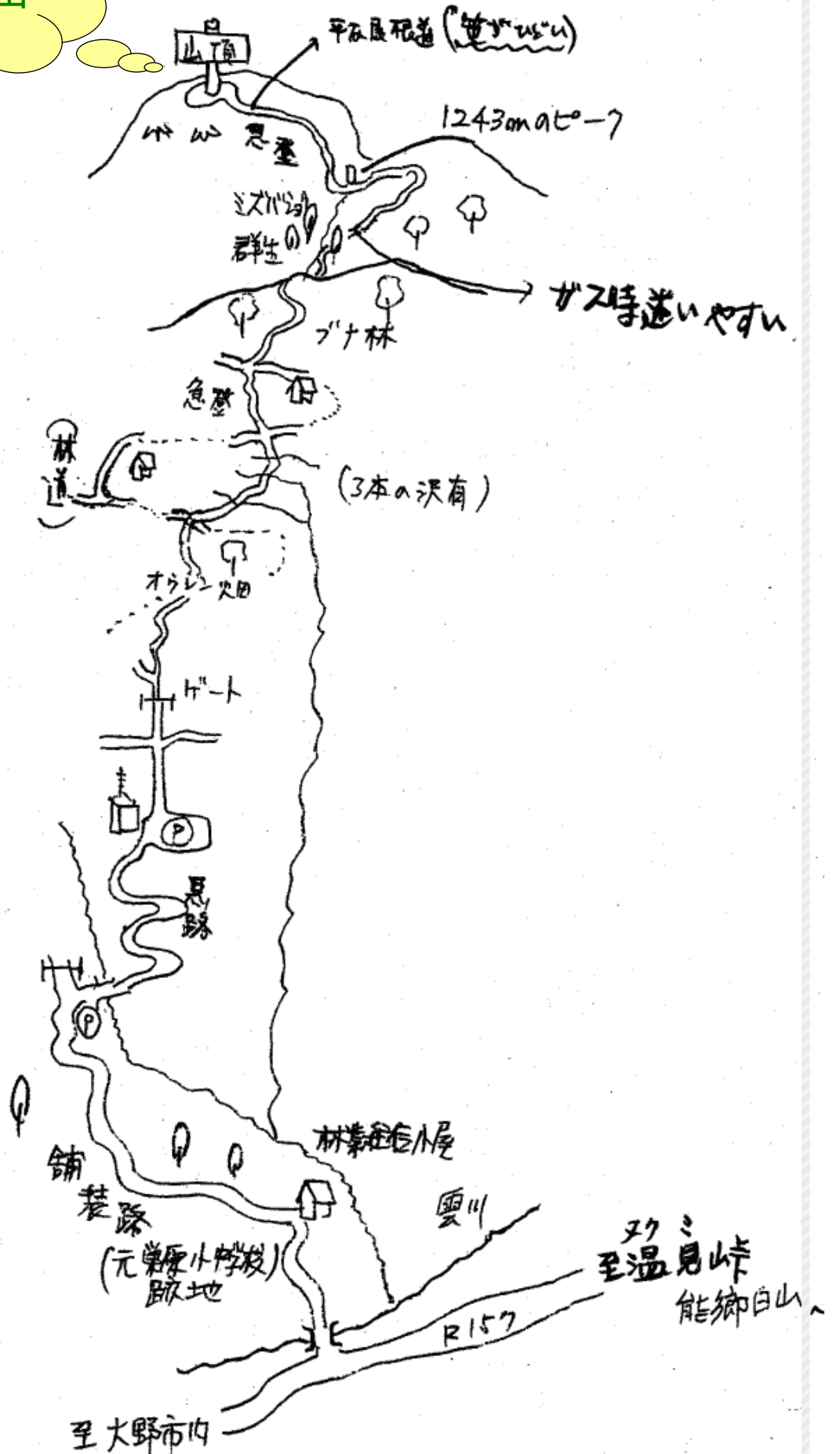
大根精治の大看板
尾根コース

行程時間

集会場前 P	0 : 00
いこいの森	0 : 10
杉2本	0 : 30
	(0 : 35)
1150m峰	1 : 50
	(1 : 50)
山頂	2 : 40
山頂	0 : 00
杉2本	1 : 00
集会場前 P	1 : 35
登り	2時間40分(休含む)
下り	1時間35分(")

4. 姥ヶ岳

1453.6m



5 経ヶ岳

1625.2m

唐谷コース

登山口	0:00
仙ヶ原	0:30
火口原	2:20
切窓	2:30
山頂	3:10



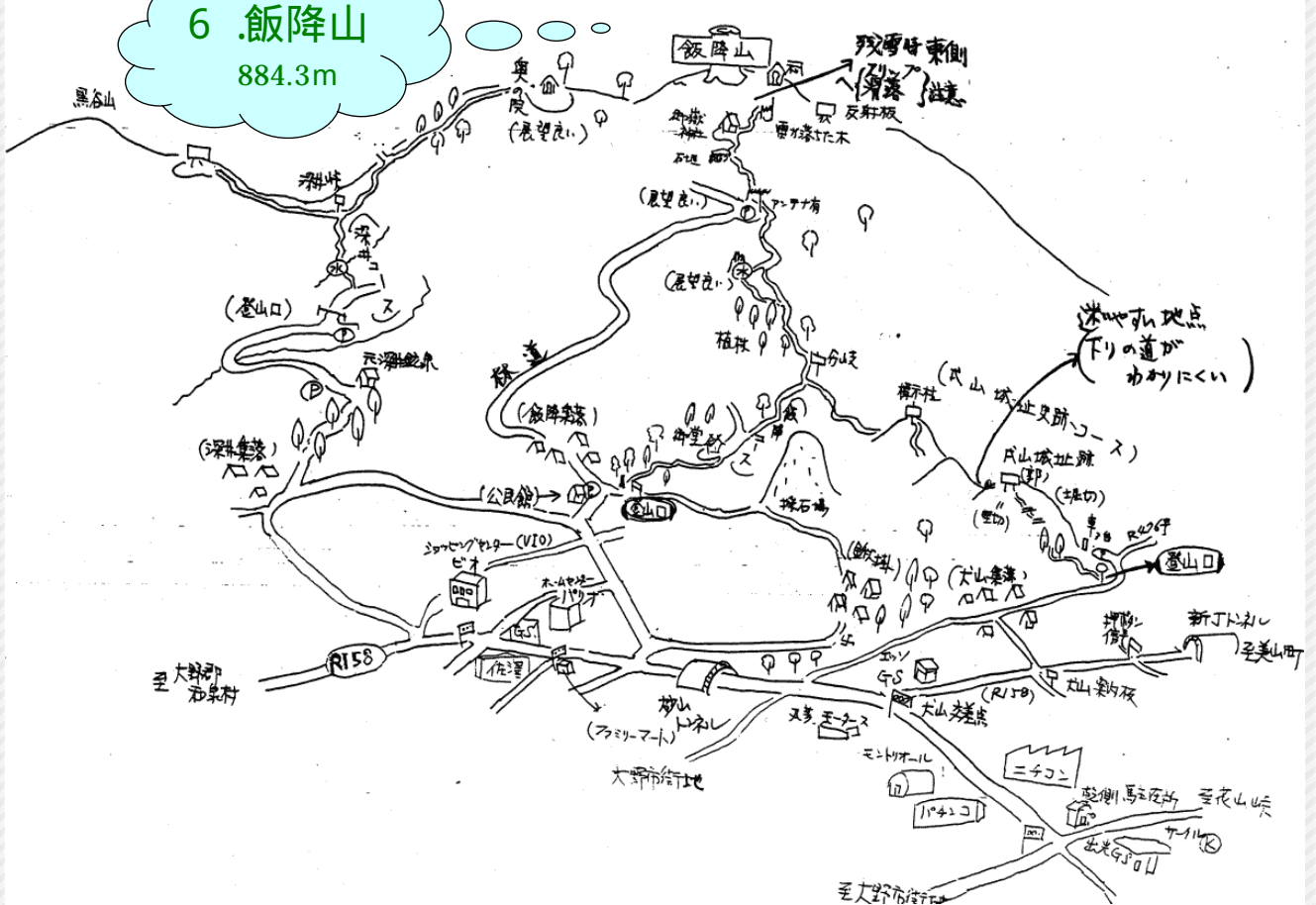
保月コース

参考コースタイム

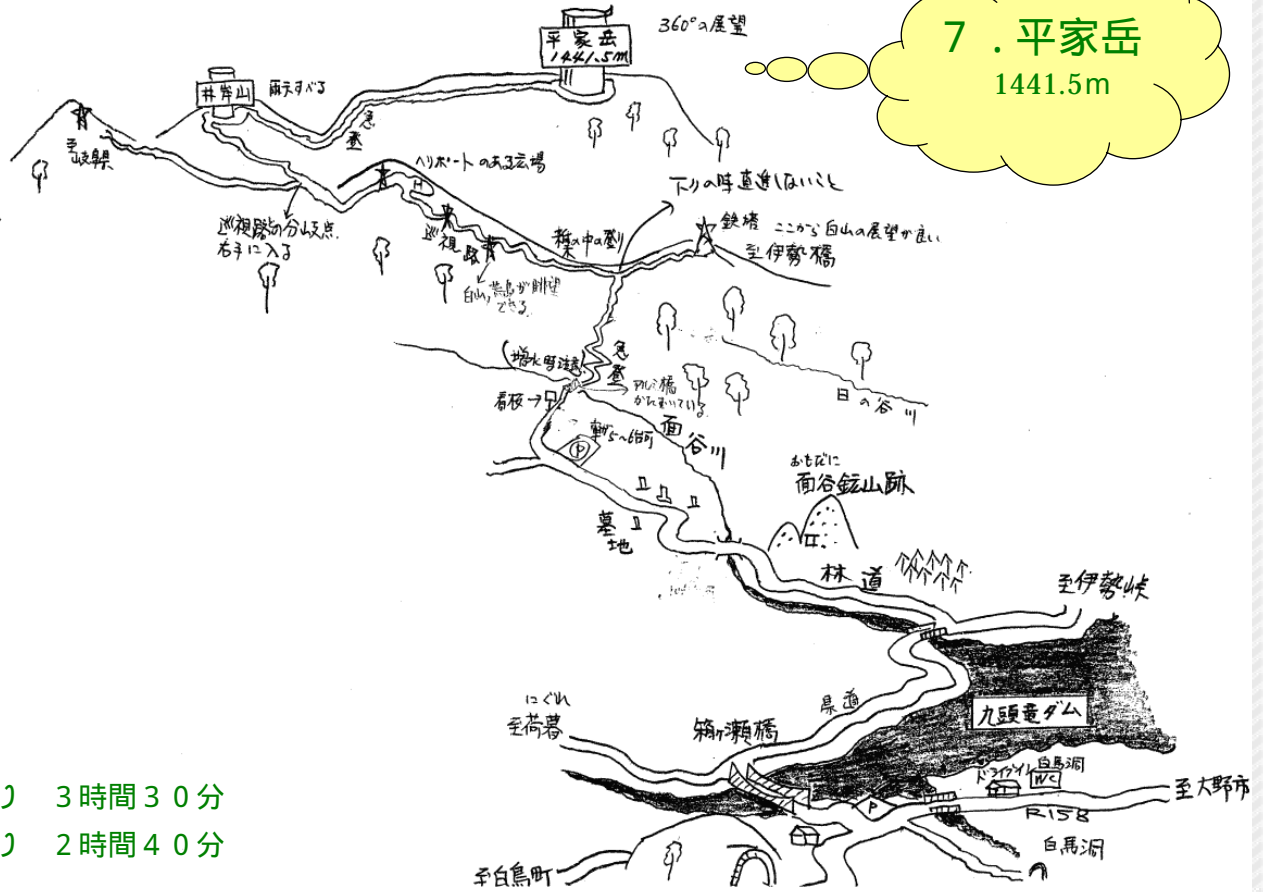
青年の家の駐車場	0:00
展望台の林道	0:40
保月山	1:30
中岳	2:30
切窓	2:50
山頂	3:30
登り	3時間30分

6 飯降山

884.3m



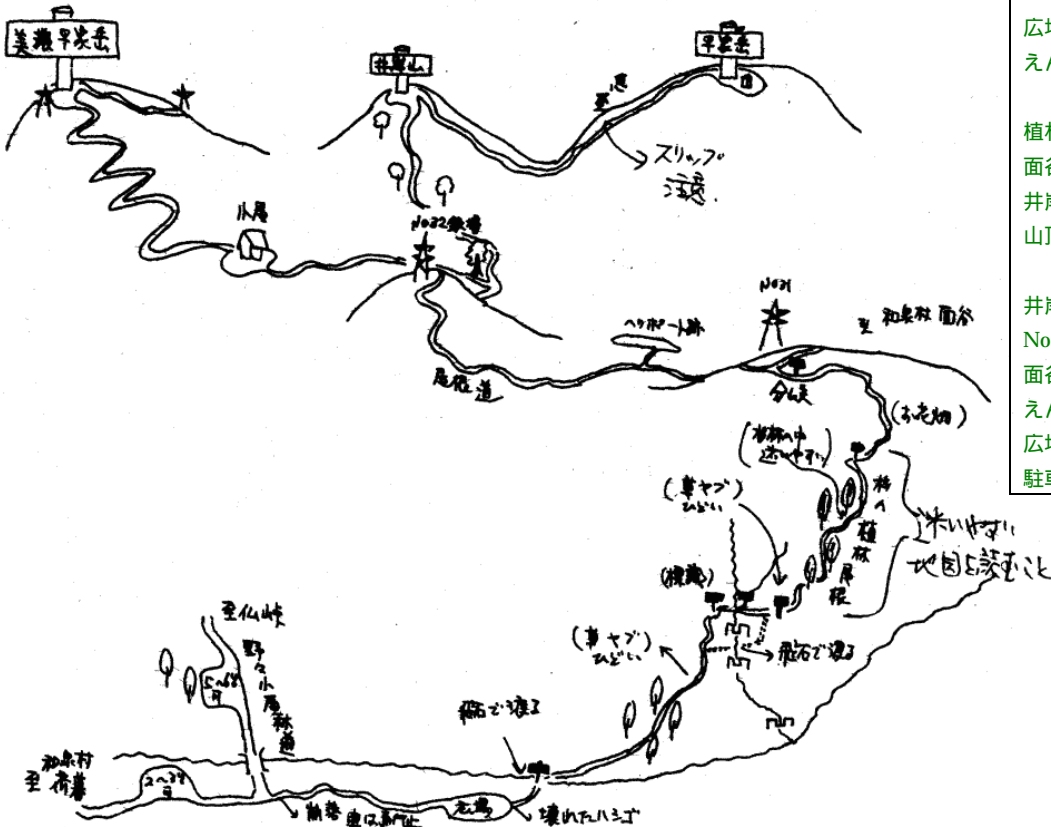
面谷コース



上り 3時間30分

下り 2時間40分

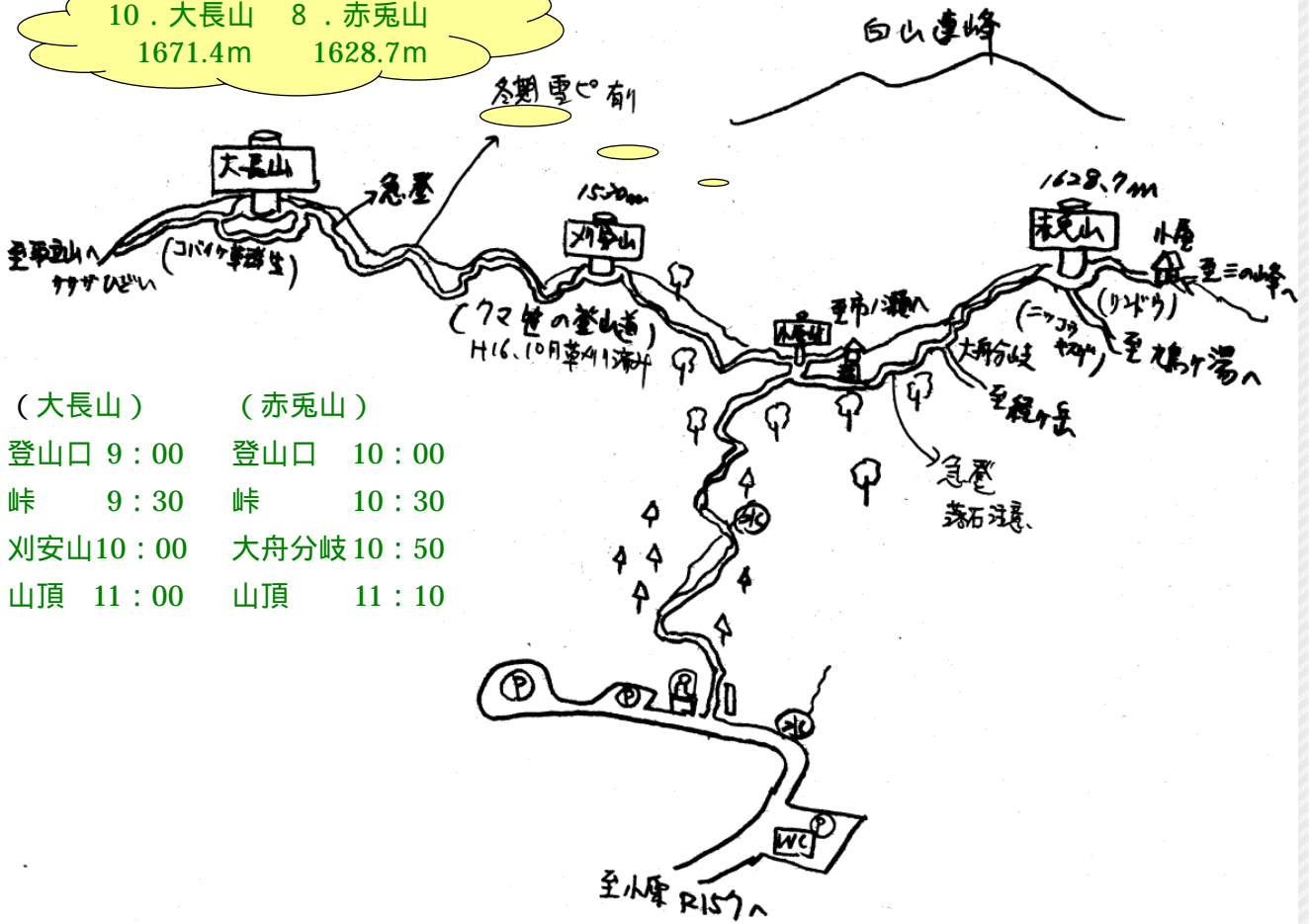
荷暮コース



参考コースタイム

和泉村朝日(車)	7:30
" 荷暮駐車場	8:30
	(8:15)
広場	8:25
えん堤	8:36
	(8:50)
植林の上	9:50
面谷の分岐	10:50
井岸山	11:07
山頂	11:20
	(12:00)
井岸山	12:11
No32 鉄塔	12:26
面谷と分岐	12:35
えん堤	13:50
広場	14:05
駐車場	14:16

10. 大長山 8. 赤兎山
1671.4m 1628.7m



(大長山)	(赤兎山)
登山口 9:00	登山口 10:00
峠 9:30	峠 10:30
刈安山 10:00	大舟分岐 10:50
山頂 11:00	山頂 11:10

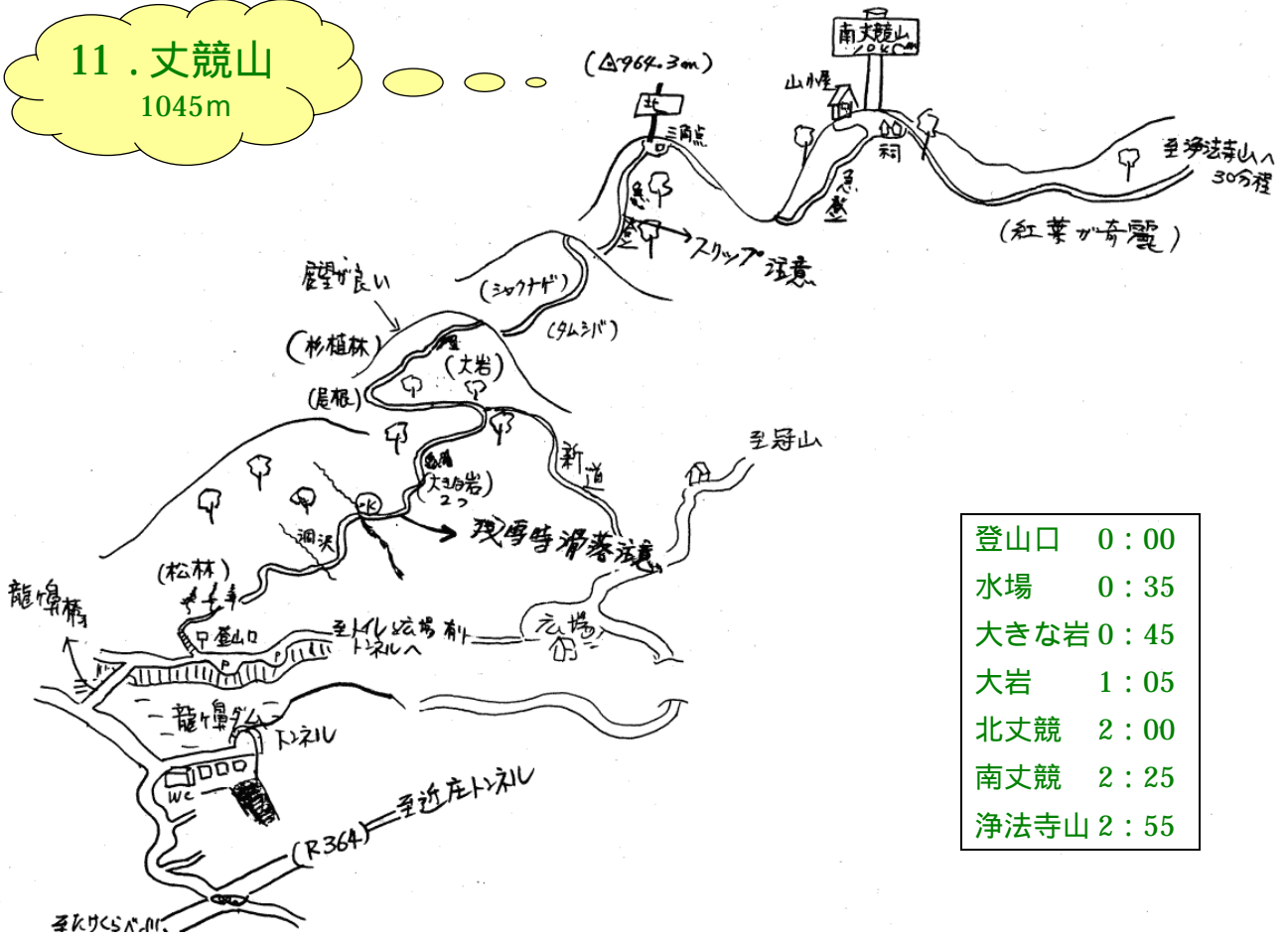


9. 取立山 10. 大長山



11. 丈競山

1045m



登山口	0 : 00
水場	0 : 35
大きな岩	0 : 45
大岩	1 : 05
北丈競	2 : 00
南丈競	2 : 25
浄法寺山	2 : 55

12. 冠山 金草山

1256.6m 1227.1m



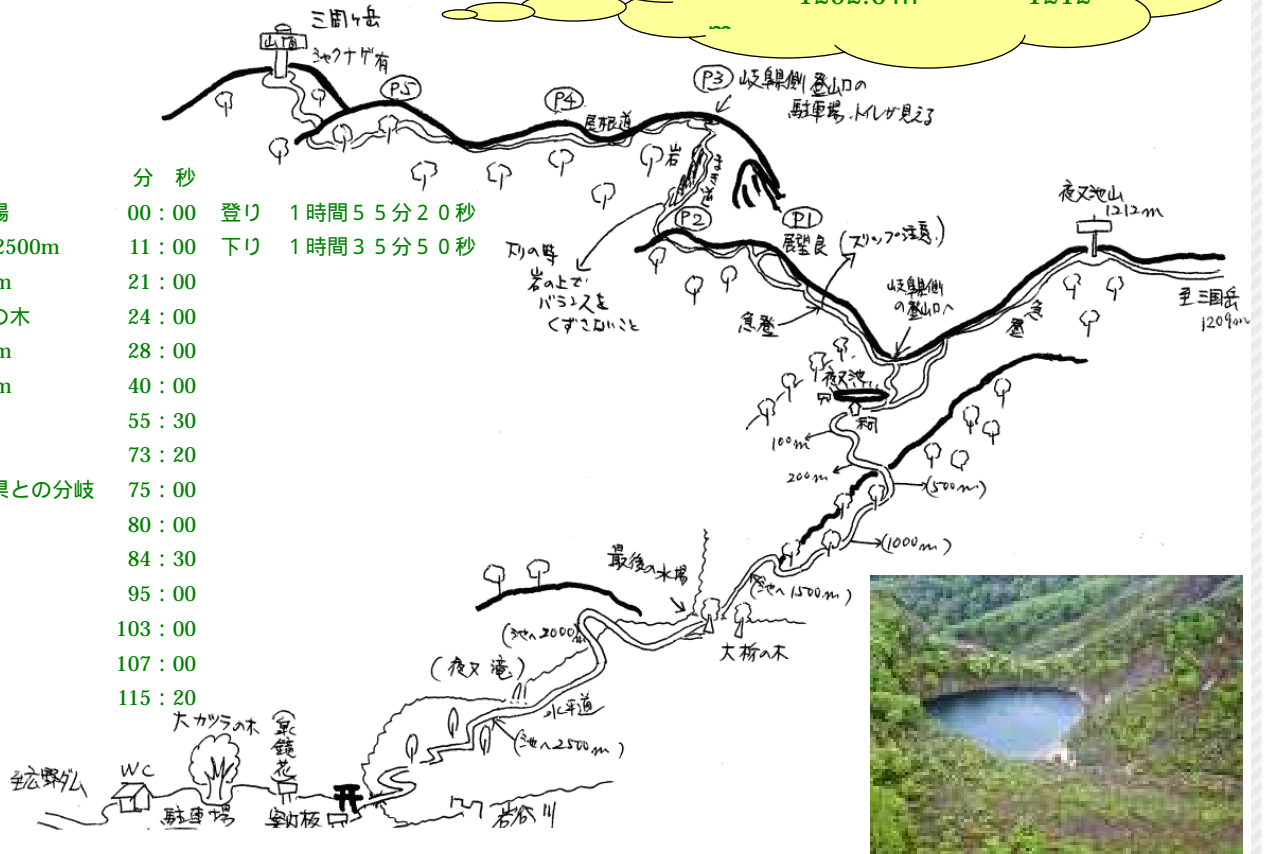
冠山参考タイム

峠	0 : 00
1156m	0 : 15
冠平	1 : 20
山頂	1 : 30

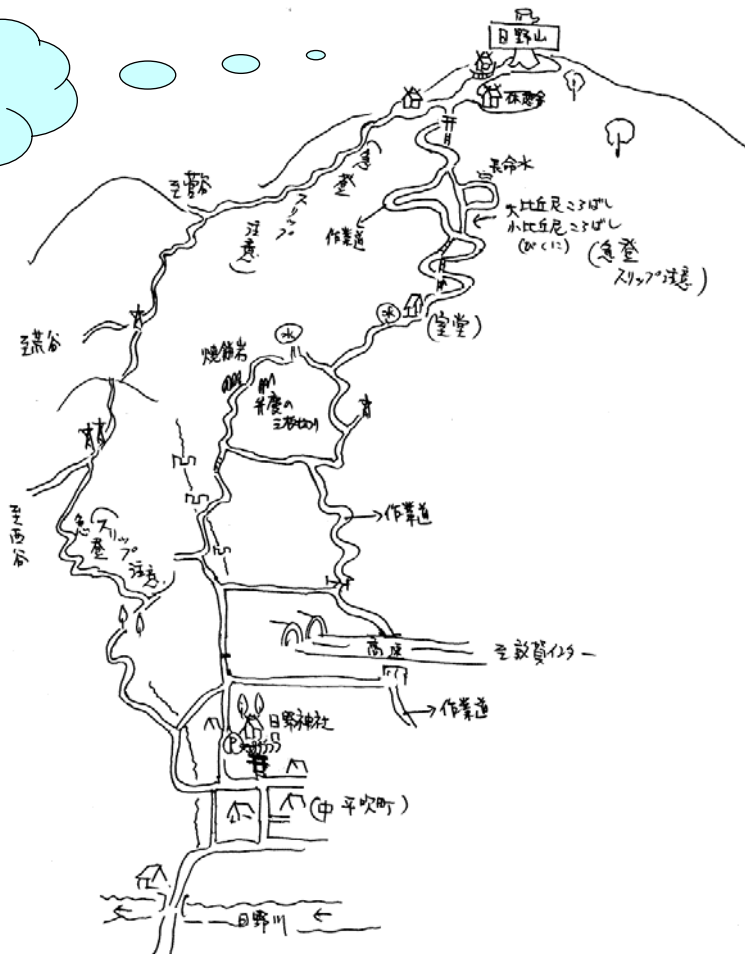
金草岳河内コース	金草岳峠コース
登山口 7 : 30	峠 7 : 45
檜尾峠 8 : 50	布滝の頭 8 : 45
白倉岳 9 : 30	檜尾峠 9 : 25
金草岳 9 : 45	白倉山 10 : 25
(2時間15分)	金草岳 11 : 00
	(3時間15分)

13. 三周ヶ岳 夜叉ヶ池
1292.0m 1212

	分	秒
駐車場	00:00	登り 1時間55分20秒
あと2500m	11:00	下り 1時間35分50秒
2000m	21:00	
大橋の木	24:00	
1500m	28:00	
1000m	40:00	
500m	55:30	
池	73:20	
岐阜県との分岐	75:00	
P 1	80:00	
P 2	84:30	
P 3	95:00	
P 4	103:00	
P 5	107:00	
山頂	115:20	



14. 日野山



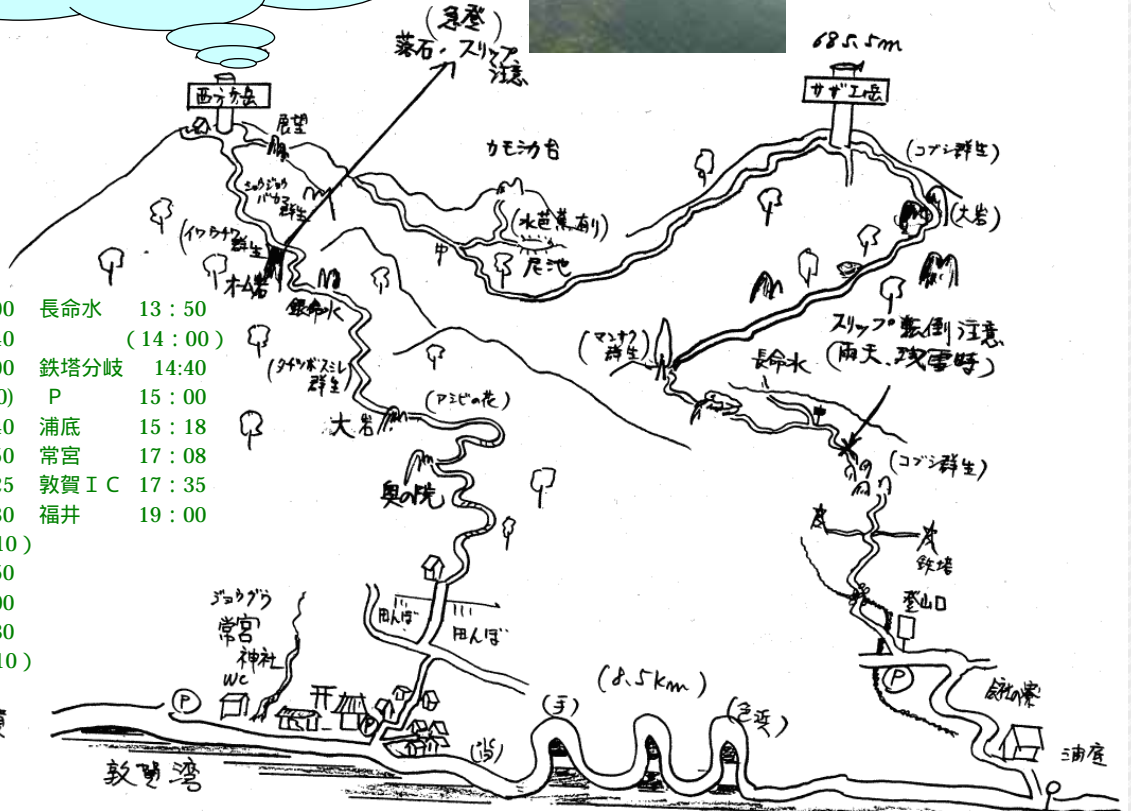
16. 西方ヶ岳 蝾螺ヶ岳
764.1m 685.5m



(所要時間)

福井	6:00	長命水	13:50
敦賀IC	6:40		(14:00)
常宮	7:00	鉄塔分岐	14:40
	(7:10)	P	15:00
奥の院	7:40	浦底	15:18
大岩	7:50	常宮	17:08
銀命水	8:25	敦賀IC	17:35
西方ヶ岳	9:30	福井	19:00
	(11:10)		
カモシカ台	11:50		
尼池	12:00		
蝾螺ヶ岳	12:30		
	(13:10)		

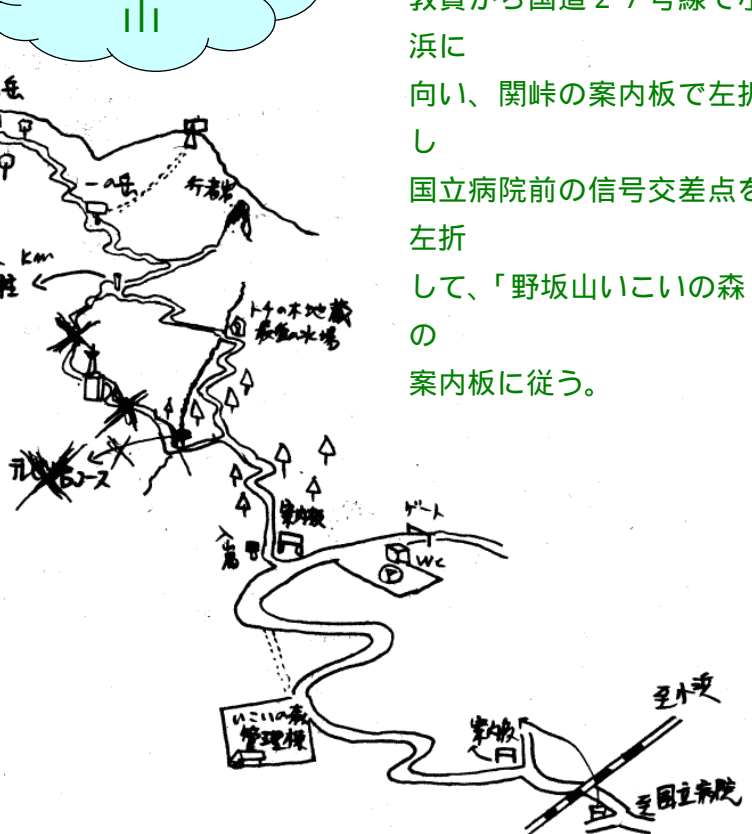
至敦賀



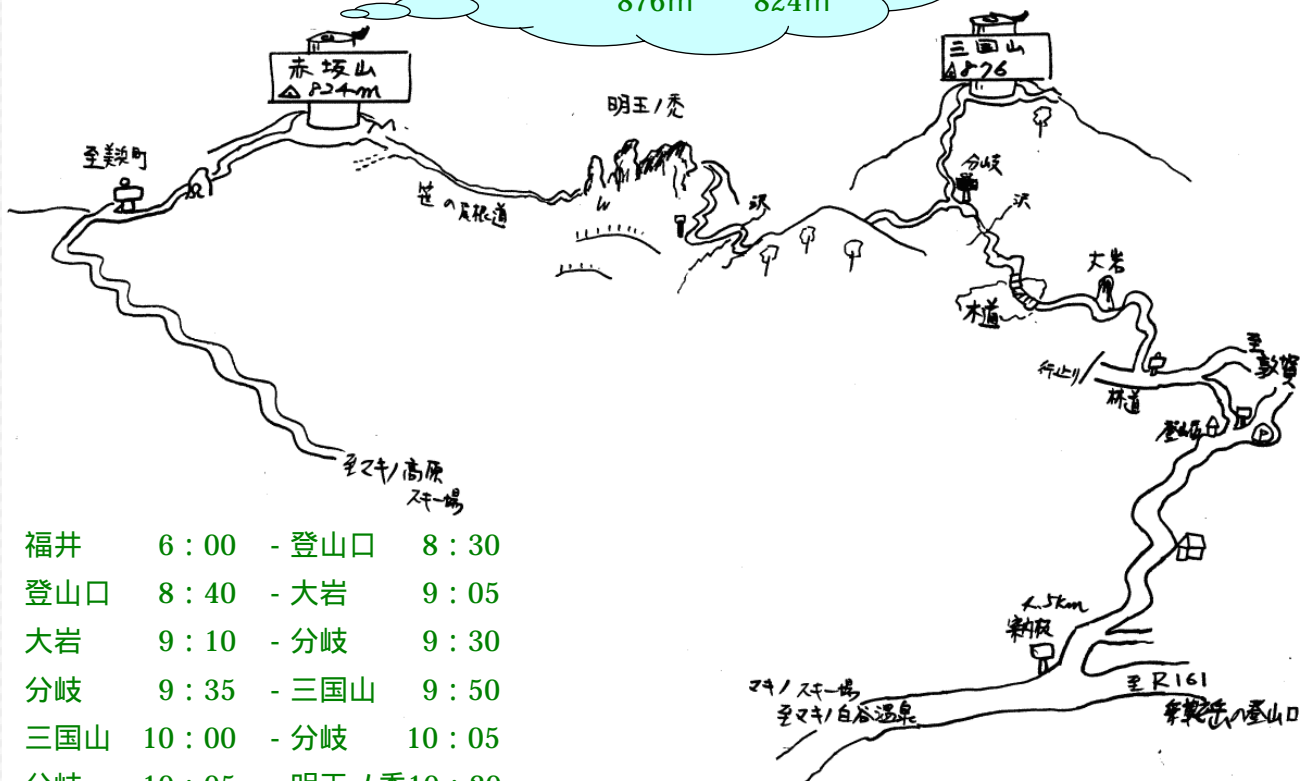
17. 野坂山

敦賀から国道27号線で小浜に向い、関峠の案内板で左折し、国立病院前の信号交差点を左折して、「野坂山いこいの森」の案内板に従う。

登山口	9:00	山頂	0:45
地藏	9:45		
標柱	10:00	登山口	2:00
一の岳	10:20		
二の岳	10:40	登り	2:25
三の岳	11:00	下り	1:15
山頂	11:25		



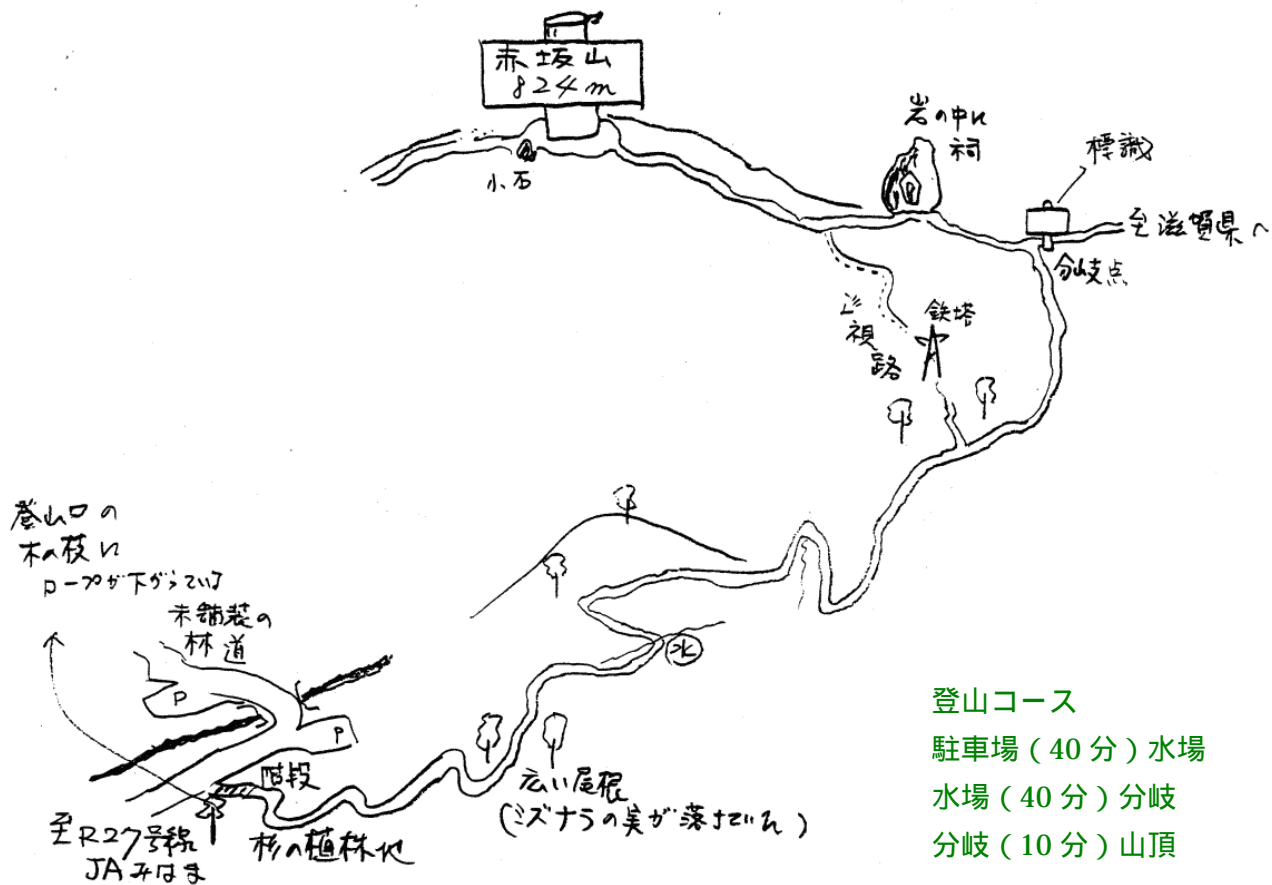
18. 三国山 赤坂山
876m 824m



福井	6:00	- 登山口	8:30
登山口	8:40	- 大岩	9:05
大岩	9:10	- 分岐	9:30
分岐	9:35	- 三国山	9:50
三国山	10:00	- 分岐	10:05
分岐	10:05	- 明王ノ禿	10:20
明王ノ禿	10:30	- 赤坂山	10:50

(赤坂山)

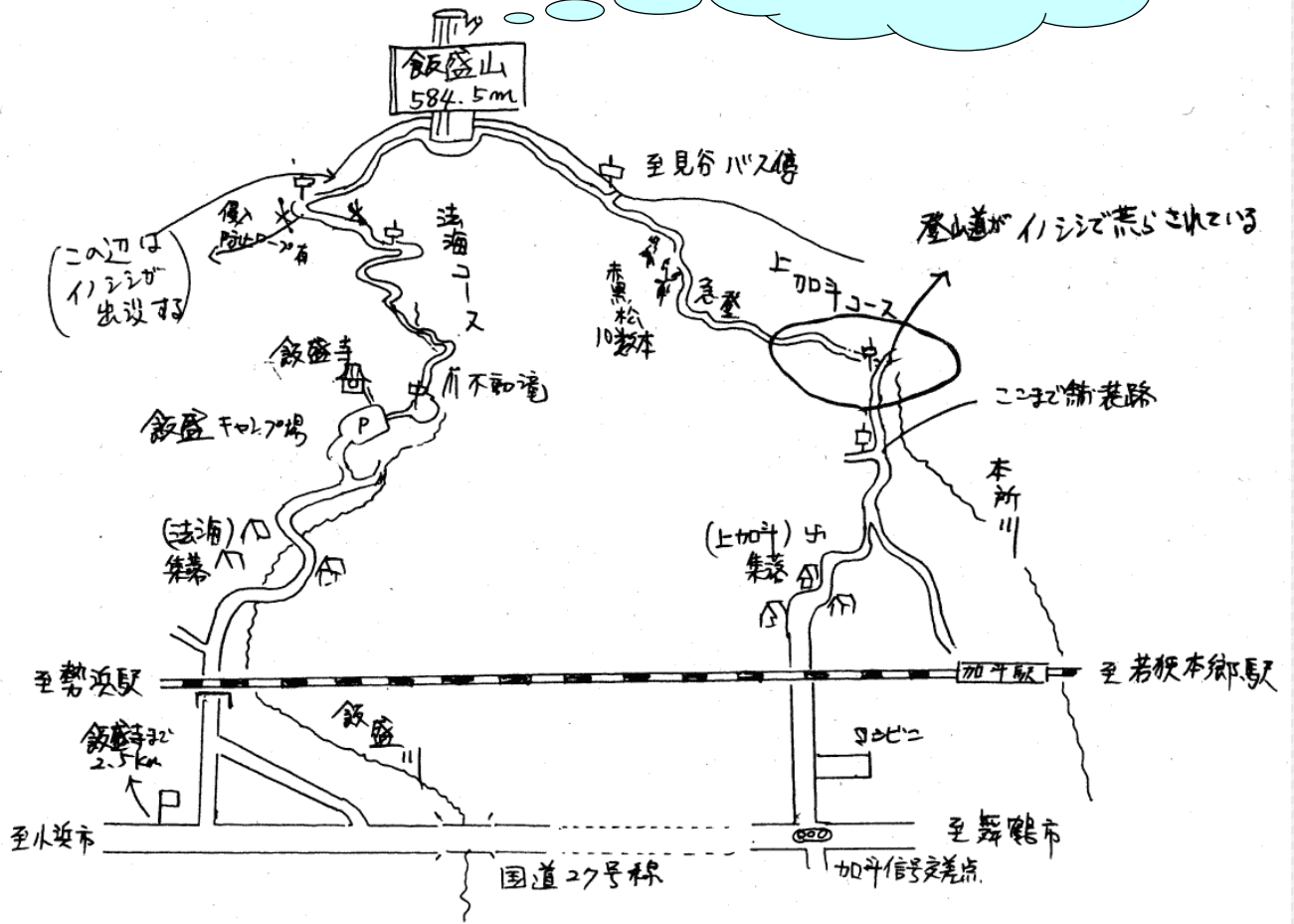
琵琶湖
伊吹山の展望よし



登山コース
 駐車場 (40分) 水場
 水場 (40分) 分岐
 分岐 (10分) 山頂

21. 飯盛山

584.5m



7 県内主要21山と管轄警察署一覧表

- | | | |
|----|----------------------------|-------|
| 1 | 三の峰（さんのみね） | （大野署） |
| 2 | 荒島岳（あらしただけ） | （大野署） |
| 3 | 銀杏峰（げなんぼう） | （大野署） |
| 4 | 姥ヶ岳（うばがだけ） | （大野署） |
| 5 | 経ヶ岳（きょうがだけ） | （大野署） |
| 6 | 飯降山（いふりやま） | （大野署） |
| 7 | 平家岳（へいけだけ） | （大野署） |
| 8 | 赤兎山（あかうさぎやま） | （勝山署） |
| 9 | 取立山（とりたてやま） | （勝山署） |
| 10 | 大長山（おおちょうやま） | （勝山署） |
| 11 | 丈競山（たけくらべやま） | （坂井署） |
| 12 | 冠山・金草岳（かんむりやま・かなくさだけ） | （越前署） |
| 13 | 夜叉ヶ池・三周ヶ岳（やしやがいけ・さんしゅうがだけ） | （越前署） |
| 14 | 日野山（ひのさん） | （越前署） |
| 15 | 岩籠山（いわごもりやま） | （敦賀署） |
| 16 | 西方ヶ岳・蝾螺ヶ岳（さいほうがだけ・さざえがだけ） | （敦賀署） |
| 17 | 野坂岳（のさかだけ） | （敦賀署） |
| 18 | 三国山・赤坂山（みくにやま・あかさかやま） | （小浜署） |
| 19 | 青葉山（あおばやま） | （小浜署） |
| 20 | 三国岳（みくにだけ） | （小浜署） |
| 21 | 飯盛山（いいもりやま） | （小浜署） |

冬の大長山

登山計画書

年 月 日

御中

所 属 山岳連盟（協会）
 団体名..... 連絡先
 所在地 氏 名
 住 所
 電 話..... 電話昼間 夜間
 入山代表者 救援態勢 ある（.....名）なし

目 的					登山方法	
目的の山域山名						
現 地 連 絡 先						
入 山 月 日 時		月	日	午前・午後	時	分
下 山 予 定 月 日 時		月	日	午前・午後	時 ころ	
任 務	氏 名	生 年 月 日	性 別	現 住 所	緊 急 連 絡 先	
					電 話	氏 名 電話又は住所
CL						
SL						

（注） 山岳会に加入の方は会名を、無所属の方は斜線を引いて下さい。
 山岳保険に加入の方は性別を で囲んで下さい。

提出先 福井県警察本部地域課又は地元警察署、交番、駐在所。
 入山口に専用ポストがある場合は、同入山ポスト。
 ○ なお、登山計画書を提出した警察・交番等に、必ず下山の報告をすること。

日 付	行動予定	期間 / ~ /	予備日	日
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
(略 図)				
荒天、非常時対策、エスケープルート、その他 				
食糧 1 人当り _____ 食分		非常食 1 人当り _____ 食分		予備食 _____ 食分
共同装備 燃料 _____、無線 (無有 _____ 台 CB26.976 _____ CB その他 _____) MHZ MHZ _____) 携帯電話番号 _____ ハム				

8 非常時の連絡先

福井県警察本部地域課	0 7 7 6 - 2 2 - 2 8 8 0 (内線 : 3 5 7 6)
大野警察署	0 7 7 9 - 6 5 - 0 1 1 0
勝山警察署	0 7 7 9 - 8 8 - 0 1 1 0
坂井警察署	0 7 7 6 - 6 6 - 0 1 1 0
越前警察署	0 7 7 8 - 2 4 - 0 1 1 0
敦賀警察署	0 7 7 0 - 2 5 - 0 1 1 0
小浜警察署	0 7 7 0 - 5 2 - 0 1 1 0

[参考文献]

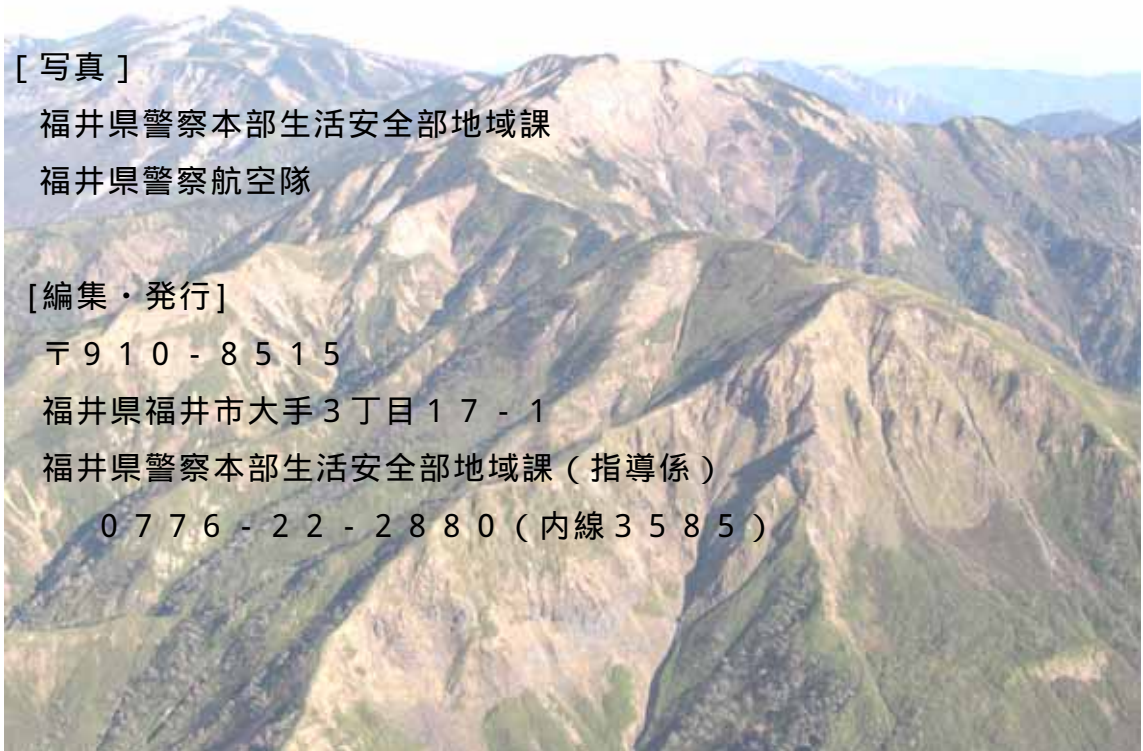
- 1 「楽しい登山～中高年の安全な登山のために～」
平成3年 初版発行 著作権 文部省 発行：KKぎょうせい
- 2 「登ってみねの福井の山 VOL.5、6」
平成10年7月、平成16年5月発行 発行所：福井山歩会
- 3 「山岳救助技術の手引き」
平成9年発行 発行：長野県警察山岳遭難救助隊

[写真]

福井県警察本部生活安全部地域課
福井県警察航空隊

[編集・発行]

〒910 - 8515
福井県福井市大手3丁目17 - 1
福井県警察本部生活安全部地域課（指導係）
0 7 7 6 - 2 2 - 2 8 8 0 (内線 3 5 8 5)



県境の山並み（三ノ峰・別山・白山）